

<エンジョイ！軟式野球フェスティバル 2025 における落雷事故防止対策について>

公益財団法人日本スポーツ協会

本大会では、公益財団法人全日本軟式野球連盟作成の危機管理マニュアルに基づき、落雷事故防止のため以下の対策を講じる。

1. 各会場における落雷事故防止対策

- ① 大会主催者は、避難の必要が生じる場合を想定し、各会場における避難場所、避難経路を確保する。
- ② 大会主催者は、雷をはじめとする急激な気象変化を予見するため、気象庁提供情報の「雷注意報」の発表状況や「雷ナウキャスト」にて情報収集をする。併せて、以下の気象情報を目視と音で確認する。

【気象情報の確認方法(目視・音)】

- ・ 積乱雲がみるみる大きくなる
- ・ 急に冷たい風が吹く
- ・ 黒い雲が近づき、暗くなる
- ・ 雷光が見える、雷鳴が聞こえる(※)

※ 雷鳴が聞こえた場合には既に約 10 km以内で雷が発生している

- ③ 試合中各会場担当者は、用意可能な場合は雷探知機を携帯する。雷を検出しアラームが鳴った場合、もしくは会場にて雷活動(雷鳴・雷光)を確認した場合は試合を中断し、各会場本部へ報告のうえ試合再開等の指示に従う。
- ④ 屋外活動中に雷活動(雷鳴・雷光)を確認した場合は、速やかに躊躇なく中断し、頑丈な建物か車内へ避難する。やむを得ず屋外で避難する場合は木の下や電柱の下には避難せず、木や電柱から 4m 以上離れることとする。
- ⑤ ④にて試合を中断した場合、大会主催者は雷鳴が収まった時点で、気象情報、グラウンドコンディションを勘案し、試合再開の判断を行う。再開は最後の雷活動(雷鳴・雷光)が止んでから 30 分経過後とする。
- ⑥ 試合再開フローについて
 - 1) 機器が雷を検出した場合
中断→「雷ナウキャスト」にて会场上空の雷活動度を確認
→「活動度 1」の場合、試合再開
→「活動度 2～4」の場合、中断を継続し、「活動度 1」となった際に再開
※雷ナウキャストは 10 分ごとに更新される。
 - 2) 会場にて雷活動(雷鳴・雷光)を確認した場合
上記④⑤を適用する。

- ⑦ 大会主催者は、再開中止の決定事項を大会関係者および参加者へ通告する。
- ⑧ 大会参加者は、大会主催者からの判断が通告されるまで、指定された場所で待機し、決定後は速やかに指示に応じること。

2. 大会期間中、屋外にて参加者が独自で活動する際の対応

- (1) 参加者は、気象庁提供情報の「雷注意報」の発表状況や、「雷ナウキャスト」にてどこで落雷や雷の発生が高まる予測になっているのか情報収集を行う。
- (2) 参加者は、落雷の危険や兆候が確認されたらためらわず活動を中止し、近くの安全な建物や車内に避難する。やむを得ず屋外で避難する場合は木の下や電柱の下には避難せず、木や電柱から4m以上離れることとする。
- (3) 万が一、雷に打たれた場合、直ちに救急車を呼び、救急車が到着するまでの間、救急隊員の指示に従い、必要に応じて心肺蘇生法や火傷の手当てなど応急処置を施す。また、必ず以下の連絡先まで報告すること(※)。

※ エンジョイ！軟式野球フェスティバル 2025 三重県実行委員会

TEL:080-8251-9687

3. 勝敗の決定方法

別紙「エンジョイ！軟式野球フェスティバル 2025 競技規則等について」3.(3)を適用する。

4. 参考・引用文献

- スポーツ庁ホームページ掲載「落雷事故の防止について(依頼)」
(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/hakusho/nc/jsa_00046.html)
 - 気象庁「雷ナウキャスト」
(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/toppuu/thunder2-1.html>)
- 
- 公益財団法人全日本軟式野球連盟ホームページ掲載「JSBB 危機管理マニュアル」
(<https://jsbb.or.jp/uploads/a0f99d0549c6b1f2d46764db306300f4.pdf>)
 - 公益財団法人日本サッカー協会ホームページ掲載
「サッカー活動中における落雷事故防止対策について」
(<https://jfa.jp/documents/pdf/other/rakurai.pdf>)